

独自開発による酒米「白鶴錦※」を使用した初の商品 「超特撰 白鶴 純米大吟醸 白鶴錦 720ml 瓶詰」を限定発売

白鶴酒造株式会社（本社：神戸市、社長：嘉納健二、資本金：4億9,500万円）では、白鶴独自開発の酒米「白鶴錦」を使用した初の商品“超特撰 白鶴 純米大吟醸 白鶴錦 720ml”を12月22日（土）からインターネットおよび白鶴酒造資料館にて数量限定で販売します。

誉れ高き酒米「山田錦」の兄弟にあたる「白鶴錦」を100%使用した“純米大吟醸 白鶴錦”は、華やかさと爽やかさの香りをあわせもち、口の中でふくらみのある味わいが特長のお酒です。

詳細は下記のとおりです。

【記】

（商品画像）

1. 商品内容

商 品 名	超特撰 白鶴 純米大吟醸 白鶴錦 720ml 瓶詰	
原材料名	米、米こうじ	
規格（標準）	アルコール分	15度以上16度未満
	日本酒度	+4
	酸 度	1.4
	精米歩合	50%
	使用米	白鶴錦100%使用
小売価格	3,150円（消費税込）	



2. 販売方法 ・インターネット（いい白鶴ネットショップ）…<http://www.e-hakutsuru.com>

・白鶴酒造資料館…館内売店にて販売。

（白鶴酒造資料館休館日：毎週月曜日。ただし、年末年始12月26日（水）～1月5日（土）と1月8日（火）は臨時休館しております）

※白鶴独自開発の酒米「白鶴錦」

優良酒米を開発するため、酒米の最高品種である「山田錦」の優良形質を解明し、更に優れた酒米を開発する目的で「白鶴錦」の育種に着手しました。

1991年「山田錦」の母にあたる「山田穂」を60年ぶりに復活させて純米大吟醸酒を商品化し、1995年「山田錦」の父にあたる品種「渡船（わたりぶね）」との交配種を開始し、優良品種を「白鶴錦」として2004年4月に農林水産省に品種登録を申請しました。

これまでの品種開発は「山田錦」の子や孫の育種がほとんどでしたが、「山田錦」の兄弟を育種することは初めてのケースです。「白鶴錦」の特長は「山田錦」に比べ粒・心白（中心部にあるでんぷん質）が大きく、心白の発現率もほぼ「山田錦」と同等で、お酒にした時の味わいの深さが特長です。

詳しくは、白鶴ホームページの“白鶴錦物語”のサイトをご覧ください。

以上